

ほのぼのせや



承認●瀬谷区第35号

www.seyaku-shakyo.jp

ほのぼのせやふれあい助成金 このように役立っています

昼間、学習時間のない
外国人への日本語教室

にほんご せや

毎週火曜日の19時～20
時30分、せやまる・ふれあ
い館の2階で日本語教室



を開いています。昼間の就労や通学などで日本語の会話や読み書きにお困りの外国の方を対象としたボランティア・スタッフによる夜間の教室です。平成15年、瀬谷区役所主催の日本語ボランティア養成講座修了者により結成した日本語教室で13年目の活動に入っています。地域での生活に早く馴染めるように日常会話や文字、言葉のルール、日本の文化や習慣などを学習の目的としています。

教室で使用する教科書や辞書、参考書、文房具、教育機材の購入費用などに助成金を有効に活用させていただいています。

近隣に住む外国人に
日本語指導・文化交流

国際交流Seya

日本で暮らす外国人が
近隣社会に溶け込み、楽
しく快適に過ごせるよう



日本語を指導、生活習慣を学ぶお手伝いをしています。

平成5年に数名でスタートしたこの会も現在はスタッフが24名となり、せやまる・ふれあい館を利用して、毎週水曜日に教科書を使って30名前後の学習者に日本語を指導しています。年に一度はスタッフと共に防災指導を受けたり、日本文化を体験するミニ講座を開いています。また、年末に行う各国の料理を持ち寄ったポットラックパーティーは会のメインイベントです。学習に不可欠の教科書購入、ミニ講座、チラシ作製、パーティーに関わる費用等、会を運営していく上で、助成金は無くてはならないものです。

第64回神奈川県社会福祉大会

功労者表彰

(敬称略)

■会長表彰

石角 初万/菅原 治美/野村 静子/兼田 治彦/川井 三枝子/新田 なを/加藤 春男/並木 マスエ/林 佳代子
森谷 薫/福田 愛一郎/廣瀬 徹/阿久和生利/ハビリ はまなすの会/グループ・男の手貸します

■会長感謝

音声訳グループ つくしの会/瀬谷区手話サークル「さかいの会」/せや布えほんぐーぶ

■優良地区社会福祉協議会表彰

本郷地区社会福祉協議会

■神奈川県共同募金会会長感謝

個人:坂詰 隆/団体:互親会

■神奈川県知事表彰

瀬谷区民生委員児童委員協議会

第35回横浜市社会福祉大会

■会長表彰

横浜市細谷戸保育園/瀬谷愛児園/浅海 幸弘/安齊 操
清水 靖枝/中村 昌代/成瀬 藤枝子/ホップステップ

■会長感謝

ふれあいサロン下瀬谷/ほっと三ツ境/阿久和北部地区社会福祉協議会

平成27年度瀬谷区福祉功労者表彰

青木 枝百子/移川 昭夫/石渡 功子/伊藤 功/稲川 靖子/上野 由仁子/内田 隆雄
大越 木綿子/鎌田 英代/川崎 正子/菅野 弘/小嶋 次男/佐々木 三郎/菅原 敬子
須山 勲/高橋 正子/高浜 恵/竹中 憲文/野木 貞男/長谷川 輝子/原口 憲彦
藤岡 邦子/柳澤 潔/山崎 薫/吉田 よし子/あくわっくす・みなみ/花ごよみ
サロン細谷戸運営委員会/瀬谷区ふれあい食事連絡会/七夕灯籠祭り実行委員会
ふれあいサロン下瀬谷/わいわいおやこ会/故 北原 勇男/水野 晴美
日栄建設株式会社/匿名1件



せやまる・ふれあい館

●アクセス

相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩12分
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて
「中丸」バス停下車 徒歩約5分

●駐車場

26台 ※障がい者用駐車場2台
※台数に限りがありますので、できるだけ
公共交通機関をご利用ください。



開所時間

■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日/9:00～17:00
■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00
■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00(年末年始を除く)

編集後記

相手の気持ちを感じて行動をおこすのがボランティア。そしてお互いさまのお手伝いから、ちょっと活動を広げるといえる人に出会えます。それも楽しみ。多様な人と話すと思いがけないパワーを得たり、仲間ができたります。孤立しがちな昨今、何かを必要としている人がいたら、行動してみませんか? (紅林 千津子)

委員長 ●遠山 丈晴(瀬谷第四地区民児協)
副委員長 ●紅林 千津子(相沢地区民児協)
林 茂(南瀬谷地区社協)/米倉 令二(瀬谷区障害者団体連絡協議会)
飯塚 陵子(ワーカーズわくわく)

皆さんはボランティア活動をしたことがありますか? 少しハードルが高いと感じる方もいるかもしれませんが、実はボランティア活動は身近なところで行われています。みなさんの生活の中でも、気づかないところでボランティアが関わっているかもしれません。まずは、学生によるボランティア活動を紹介します。

学生編



小学生の宿題や学習を応援!



毎週金曜日、阿久和南部地区「ぼかぼかプラザ」学習応援クラブには小学生がたくさんやってきます。小学生を迎えるのは高校生のお兄さんお姉さんや地域の方々。学校で出た宿題などを持ち寄って一緒に勉強します。先生役は高校生やボランティア活動をしたいと集まった人たちです。

ボランティア学生の声

活動に参加するきっかけは子ども好きだったこと、良い取り組みだなと思ったこと。小学生のうちこのような体験が出来るのは子どもたちにとって幸せなことだと思います。もっと多くの人にボランティアに参加してもらいたいです。

横浜隼人高校2年生 ボランティア同好会会長 並木優人さん

ボランティアのついで 中学・高校生ボランティア活動報告会

3月12日(土) 10:15～11:15
同時開催 介護ロボット・ダンスイベント 等

ボランティアのこと

知ってますか? 考えてみませんか?

子ども達の遊びをお手伝い!



地域の子も達が「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、誰でも自由に遊べる屋外の遊び場作りをしている「こどものもりプレイパーク」(南台2丁目)。安全に配慮しつつ子ども達の遊びを広げる活動をしています。プレイパーク代表者の方は「当日は小雨の中、キラキラとした瞳で水遊び・しゃぼん玉・皿回しなどに挑戦してくれました。プレイパークのボランティアはいかに自身が楽しく遊ぶかが大切なミッションです」と話してくれました。

ボランティア学生の声

初めて参加したボランティア活動だったので不安で緊張しましたが、子どもたちがとても楽しそうに遊んでいるのを見て私も楽しく活動することができました。多くの人とふれあえてとても良い経験になりました。

瀬谷中学校3年生 市川咲歩さん・伊藤晴菜さん

地域美化に一役買ってます!



ボランティア学生の声

東野中学校で「地域に愛される学校」という目標があるので、地域のために何か活動をしたいと思って清掃活動を始めました。貴重品の落し物を拾うこともあるしごみも多いので、地域清掃は重要だと思います。

東野中学校1年生 秋元美妃さん・吉田彩夏さん

瀬谷区内の公園で清掃活動をしている中学生がいます。地域の方がその活動を見て、応援の声をかけてくれる場面もみられました。今後も、中原街道や地域の森など公共の場の美化活動をしていこうと考えているそうです。

ボランティアのこと、もう少し知りたいと思われた方は2ページへ→

学生さんだけじゃない! 地域でもこんな支え合いをしています!

男手の必要な 高齢者の 困りごとを お手伝い



「業者に頼むほどではないけど、自分では手入れが大変…」そんな風についてしまう庭木の剪定や草取り。そんなとき心強い味方になる活動をされている方々があります。高齢者や障害者の方が男手の必要な困りごとがあったときに、お助けする活動をしているボランティア団体「グループ・男の手貸します」。仕事を離れた元気な男性で、地域に貢献したいと考えている男性ボランティアさんが活動されています。

依頼件数は毎年増えているそうで、地域のなかでの支え合いが必要とされていることがよく分かります。お隣の家での作業をみて、「じゃあ私の家もお願いしたい」とご依頼を受けることもあるとのこと。活動をしているボランティアのみなさんは「きれいになりました、ありがとうございます」という利用者さんの声がやりがいにつながると笑顔で話してくれました。作業の休憩中に利用者さんとお話をしたりして交流をされるなど、皆さんいきいきと元気に活動しています。

話を聴いて 充実した時間を 共有する



みなさんは「傾聴」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。傾聴とは、ただ話を聞くだけではありません。相手の話があるがままに受け止めて、その方のストレスを解消したり、気持ちを楽にすることにつながります。

瀬谷区にも傾聴活動をしているボランティアグループがあります。「瀬谷区傾聴ボランティア・えがお」は、傾聴活動を通じて利用者の方と充実した時間を共有することを目的に活動しています。区内の高齢者施設や個人宅を訪問して傾聴活動をするほか、定例会や研修会を実施し会員同士での情報交換等を行っています。活動をしているボランティアのみなさんは「聞いてもらってよかったわ」という言葉をいただいた時や、利用者の方と気持ちが通じたときにやりがいを感じられます」と話してくれました。

話を聞くという普段の何気ない行動の延長が、地域での支え合いにつながっています。

ボランティアに少しでも興味をもった方・ボランティアを頼みたい方はこちらへ!

瀬谷区ボランティアセンター TEL:045-361-2117
(瀬谷区社会福祉協議会内) **FAX:045-361-2328**



社協の「あんしんセンター」 地域であんしんして生活ができるように!

瀬谷区社協内にある「あんしんセンター」では、地域権利擁護事業(全国的には日常生活自立支援事業と言われています)を行っています。生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などが困難な高齢の方や障害のある方を支援しています。自己決定の尊重・自立支援の観点から、契約者本人の意思に基づいて地域での生活を支えるため、

- ①福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
- ②預金通帳など財産関係書類等預かりサービス

を提供します。詳細については直接「あんしんセンター」へお気軽にご相談ください。

あんしんセンターのサービスは契約能力があることが条件の一つとなっていますが、契約能力がなくなってしまったとき、利用する制度として「成年後見制度」があります。成年後見制度に関する取り組みとして、平成27年度は新たに「市民後見人養成」の一端を担ってまいりました。瀬谷区内には現在1名の市民後見人候補の方が登録をしています。今後も市民後見人候補者養成のため、横浜市社協内にある「横浜生活あんしんセンター」と横浜市健康福祉局福祉保健課が養成講座を実施いたします。ご興味のある方・受講をご希望される方は、ぜひ右記説明会へご参加ください。

「あんしんセンター」
へのお問合せは TEL:045-361-2262 FAX:045-361-2328

「第3期市民後見人養成課程説明会」

日時:平成28年3月9日(水) 18:30~20:00

会場:横浜市健康福祉総合センター
4階ホール(横浜市中区桜木町1-1)

定員:280名 先着順・申し込み不要

内容:横浜市における市民後見人養成・活動支援について
市民後見人養成課程について
(研修内容・受講要件等)

対象:以下すべてに該当する方

- ①横浜市民で次の7区いずれかに在住の方
鶴見、西、港南、金沢、栄、泉、瀬谷区
- ②25歳以上70歳未満(平成28年6月1日現在)
- ③第三者後見人等(他の団体の法人後見履行者及び任意後見契約者を含む)として、他で受任していないこと。また、今後も受任しないこと。

※「申込者本人が説明会に参加していること」が養成課程の申込み要件となっています。

ボランティア バス事業の 振り返り

東日本大震災から5年。 釜石の人たちとの交流によって どのような成果を生んだのでしょうか。



みんなに楽しんでもらいたい

平成24年7月~平成25年11月までの2年間、多くの方が仮設住宅で生活していました。震災以来、大規模なお祭りもなくなりましたが、8月第1土曜日にお祭りの代わりに行われることになった盆踊りのお手伝いを行い、たくさんの方と触れ合うことができました。11月は仮設住宅を訪れて工作を中心とした交流会を実施しました。



炊き出しでは、仮設住宅にお住まいのたくさんの方が集まってくれました。

ボランティアに参加した高校生と釜石高校の生徒が交流会を行いました。



被災地の方の役に立ちたい

平成23年12月2日、34名の瀬谷区民を乗せて、第1回瀬谷ボランティアバスが運行されました。当時はまだがれきが散乱しており、作業の進みが遅かった大槌町や陸前高田市で、がれき撤去や倉庫内清掃、思いの品の分別作業などを行いました。

被災地の現状を目の当たりにした瀬谷区民からは、「継続的に支援していきたい」という声が多数寄せられました。



地元の方と一緒にボランティアも盆踊り!



仮設住宅の方と一緒にクリスマスツリーを作りました。



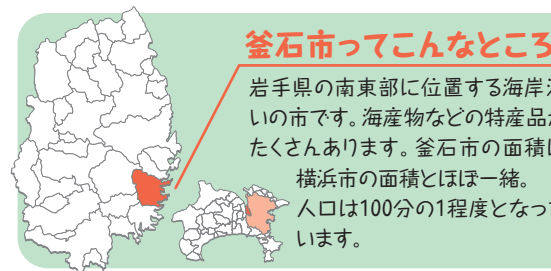
盆踊りの際に、ボランティアで出店をしました。

心の支えになりたい

平成26年7月~現在 釜石市の大規模なお祭りが復活し、大きなショッピングセンターもできました。復興住宅も建ち始め、釜石市では仮設住宅の統合計画が示されました。半数の仮設住宅を今後3年間で閉鎖するという計画で、復興住宅などに引っ越しできない方は、3年後も残ることになる仮設住宅へ移動しなければなりません。せっかくできた友人とも離れ離れになり、心の支援が必要とされています。瀬谷ボランティアバスは、3年後も残る予定の仮設住宅に対して、交流を通じて継続的に支援を行う方向に転換しました。

●なぜ釜石市なのか

平成23年3月末から、全国社会福祉協議会が各都道府県の社会福祉協議会に応援要請をしました。その際に応援に行く都市が決められ、横浜市・川崎市・相模原市・山梨県などが釜石市派遣となりました。8月末には派遣が打ち切られましたが、瀬谷区社協ではその流れを汲んで、その後も継続して釜石市へのボランティアバス事業を実施しています。



釜石市ってこんなところ

岩手県の南東部に位置する海岸沿いの市です。海産物などの特産品がたくさんあります。釜石市の面積は横浜市の面積とほぼ一緒。人口は100分の1程度となっています。

●釜石からのメッセージ

瀬谷区社協では、ボランティアバスだけではなく、釜石市から毎年講師をお招きして、3月に開催するボランティアのつどいで、「釜石からのメッセージ」と銘打って講演会を開いています。

今年も震災から5年たち、「この5年間で釜石が学んだこと」というテーマでお話していただく予定です。

<3月12日(土)11時15分より、せやまる・ふれあい館にて>

●ボランティアバス募金・釜石物産販売

毎年3月11日、瀬谷区被災地支援実行委員会が三ツ境駅・瀬谷駅でボランティアバスの募金活動を行っています。また、ボランティアのつどいで釜石物産展を開催し、その売り上げをボランティアバス事業にご寄付いただいています。今年も実施を予定しておりますので、たくさんの方のご協力をお待ちしています。

このボランティアバス事業は神奈川県共同募金会「たすけあい福祉資金」の配分を受けて実施しました。

障害者の方々に応援しています！

障害者支援の活動が、いろいろな形で行われました。その様子をご紹介します。

「せやまる・ふれあい祭り」



障害者施設の自主製品販売

12月3日～9日の障害者週間に合わせて、平成27年12月5日(土)に開催しました。オープニングは恒例の東野中和太鼓クラブの演奏で始まり、演奏終了後は来場者の演奏体験を行い大変好評でした。また、「心と年齢のバリアフリー♡異世代交流～みんなでつなごう・あったかまつり」のテーマのとおり、瀬谷区の障害者施設の自主製品の販売や、地域のボランティアの方々の模擬店、ステージ発表など、誰もが楽しめる盛りだくさんの内容で400名を超える方が来場しました。平成28年度は12月3日(土)に開催予定です。



東野中和太鼓クラブの演奏



せやまるが来てくれました

障害児余暇支援「みーとすまいる」



バラバルーンで楽しく交流しました

三ツ境養護学校に通う重度心身障害児の生徒を対象に、子どもたちが学外で社会との交流・学習する場として余暇支援プログラムを年3回開催しています。子どもたちと保護者の方々とボランティアの三者で、毎回楽しい時間を過ごしています。今年度は主に講師による音楽プログラムを行い、音楽に乗せて楽器演奏・マッサージなどのふれあい遊びを皆で楽しみました。みーとすまいるでは一緒に子どもたちと楽しみながら関わってくださるボランティアを随時募集しています。(ボランティアの皆さんには三ツ境養護学校の先生から介助の方法や接し方のポイントなどの講習会を受けていただき、障害支援について学べる機会となっています。) ご興味のある方は、瀬谷区社会福祉協議会までご連絡ください。



音楽のってみんなで楽器演奏！

第3期瀬谷区地域福祉保健計画

「暮らしやすいまちづくりの計画」



地域福祉保健計画は、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指す計画です。区民の皆さん、事業者、公的機関(行政・区社協・地域ケアプラザ等)が、福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いを進めていきます。この度、第3期瀬谷区地域福祉保健計画(平成28年度～32年度)が策定されました。区民の皆さんに親しみをもってもらうため、「暮らしやすいまちづくりの計画」という副題をつけました。計画の基本理念である『みんなで作る みんなのしあわせ』を瀬谷区のすべての地域で実現するよう皆さんで取組を進めていきましょう。

なお、2月27日(土)、瀬谷公会堂にて、瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウムが開催され、第3期計画のお披露目がありました。



眠っている学用品を必要な方へ届けます。

未使用・新品同様

～まだ使える不用品を活かす「リユース」～

受付期間 ● 3月31日まで
受付場所 ● 瀬谷区社会福祉協議会

- こんなものを集めています
- 習字セット・ノート・絵の具セット
 - コンパス、分度器・マジック、カラーペン
 - 教材(ドリル、問題集等)・消しゴム
 - 色鉛筆・鉛筆(シャーペン)・はさみ・定規

平成27年度 各種募金のご協力状況

※平成27年度実績については、全て平成28年1月末日現在の実績です。

	<平成27年度実績>	<平成26年度実績>
神奈川県共同募金会瀬谷区支会		
赤い羽根共同募金	8,857,885円	8,837,988円
年末たすけあい募金	2,313,198円	2,240,701円
合計	11,171,083円	11,078,689円



ご協力ありがとうございました。

	<平成27年度実績>	<平成26年度実績>
日本赤十字社瀬谷区地区委員会		
	6,277,328円	6,539,322円

善意銀行とは

地域の皆様の善意に基づく金銭・物品をお預かりし、必要とされる方々に配分する仕組みで、銀行の機能になぞらえて「善意銀行」と呼んでいます。また、平成24年度より、被災地の復興支援を目的としたボランティアバスへの指定寄付も受け付けています。

	<平成27年度実績>	<平成26年度実績>
1,022,091円	1,238,827円	
うちボランティアバスへの寄付 427,608円	うちボランティアバスへの寄付 505,682円	

賛助会費納入協力状況報告

世帯賛助会費	6,189,500円(昨年度 5,907,700円)
法人・個人会費	460,000円(昨年度 625,000円)
合計	6,649,500円(昨年度 6,532,700円)

- 賛助会費とは

賛助会費は瀬谷区内の地区社会福祉協議会と地域福祉活動団体の運営を支援するために、地域の皆様にご依頼させていただいているものです。
- 賛助会員とは

本会の実施する事業に対して、ご賛同いただき1年ごとに会員という形で地域の福祉活動を財政面で支えていただく世帯・個人・法人・団体の方々のごことです。
- 賛助会費の種類
 - 世帯賛助会費(1口1,000円)
 - 法人賛助会費(1口5,000円)
 - 個人の方を対象とした世帯賛助会費については、毎年7月から各自治会・町内会の皆様のご協力のもと、取りまとめていただいています。

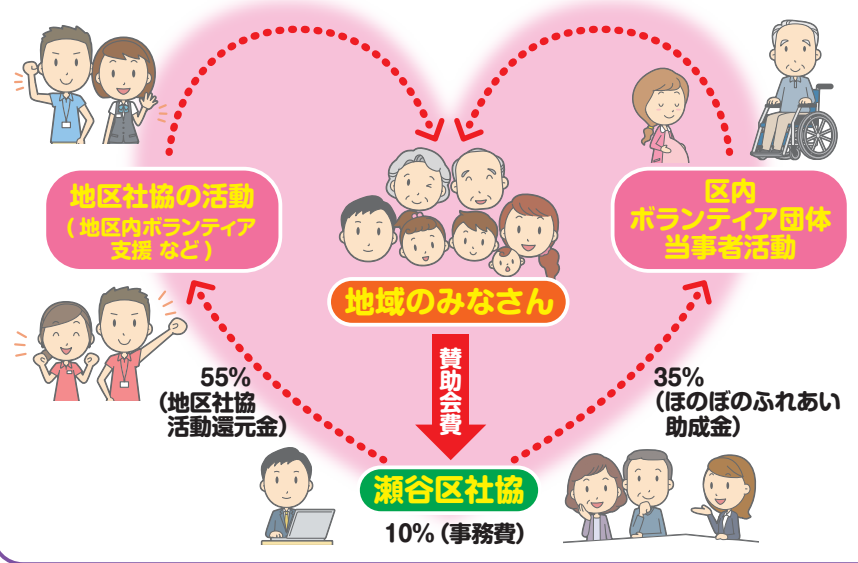
法人賛助会費にご協力いただいた皆様

1月末日現在(順不同・敬称略)

- (株)ハウスたかだ ● (有)木下左官店 ● (株)松下コンクリート建材
- 花上社会保険労務士事務所 ● (有)第一産業 ● (有)上越建設 ● 川合機工(株)
- (株)アアム ● 志水工業(株) ● (株)連合社印刷 ● (有)カネココンストラクション
- (有)橋田商事 ● 相原造園土木(株) ● (一社)横浜市瀬谷区医師会
- (有)三貴工業 ● コーロ計装(株) ● (株)和光テレコム ● (株)富士紙業
- (有)トーワ ● (株)三ツ境生花園 ● 曙工業(株) ● (株)八雲堂 ● (有)報栄
- (社福)朋友会 軽費老人ホーム睦荘 ● (有)山百合商事 ● 川口白鳳(株)
- (株)ハクホウエンタープライズ ● (株)鈴木工業 ● (株)谷村工務店
- (株)横浜アーチスト ● 東都造園(株) ● 露木興業(株) ● クローバ(株)
- イシケンスポーツ瀬谷店 ● 日翔物流(株) ● (株)原商会 ● (株)日生設備
- (株)ツインコムネット ● (株)エービーテック ● 日総ニフティ(株) ● (株)橋
- (株)シーケン ● (株)白光社 ● 医療法人社団 桐峰会 横浜桐峰会病院
- (学)平成学園原幼稚園 ● 三新住研(株) ● (株)岩本工業 ● (有)ラ・シード
- (特非)ワーカーズわくわく ● 親和興業(株) ● (社福)愛光会
- (有)平本ビル ● まこと幼稚園 ● (株)高栄設備工業 ● (株)ハッタ
- (株)エムテック松崎 ● (有)一里山ゴルフセンター ● 亜細亜食品(株)
- (社福)愛成会 特別養護老人ホーム 愛成苑 ● (有)安芸美装 ● 珈心館
- (株)リビングタナカ ● 平田自動車工業(株) ● (有)山内板金工業
- ダスキンヘルスレント横浜西ステーション ● (株)浅川建設 ● (株)あんざい
- 三ツ境交通(有) ● (株)国際連邦警備保障 ● (株)ジャパンドットサンサービス
- (有)小林鉄筋工業所

※賛助会費は確定申告の際、寄附金控除の対象となります。

「賛助会費」ってどのような仕組みなの??



集められたお金はどのように使われている?

地域の皆様には、一口1,000円をお願いしておりますが、そのうち55%(550円)は地区社会福祉協議会の活動財源に、35%(350円)はほのほのせやふれあい助成金として福祉活動団体の財源に、残りの10%(100円)は配分事務手数料といった内訳になっています。地区社会福祉協議会では、社会参加の促進を支援するサロン活動や、高齢者の方への配食サービス活動など、各地区のボランティアを支援しています。

ご寄付いただいた賛助会費は、「ほのほのせやふれあい助成金」として、いろいろな活動に役立っています。その一例を次のページでご紹介します!!